

(参考) 調査票様式

神奈川県働く環境に関する従業員調査票

この調査は、県内の民間事業所に勤務されている従業員の方の就業環境の状況を明らかにするために実施するものです。働きやすい就労環境の整備を支援していくための基礎資料を得ることを目的としています。

お忙しいところご負担をお掛けし、大変恐縮ではございますが、この調査結果は、事業所での働きやすい職場環境づくりを進める事業に役立てられますので、ご協力くださるようお願いいたします。

この調査は、神奈川県統計調査条例に基づく調査です。調査票に記入された事項については、秘密を守り、他に漏らすことはもちろん、統計的に処理し、統計以外の目的に用いることは絶対にありませんので、ありのままを記入してくださるようお願いいたします。

調査票記入にあたってのお願い

- ① ご回答は、特に断りのない限り平成 21 年 10 月 1 日現在の状況を記入してください。
- ② ご記入いただいた調査票は、この調査票が封入されていた返信用封筒（切手不要）に入れて、平成 21 年 10 月 23 日（金）までにご返送ください。

〔問い合わせ先〕

神奈川県商工労働部 雇用労政課 両立支援班 荻野
電話 (045) 210-5746 F A X (045) 210-8873
メールアドレス chosa-jugyoin@pref.kanagawa.jp

なお、この調査は調査結果の集計・分析を民間機関に委託しております。ご返信は次の事務局宛にお願いいたします。

神奈川県働く環境に関する従業員調査事務局：
(株) 日本能率協会総合研究所 社会環境研究本部 環境研究部

この調査の結果は、働きやすい職場づくりを進める事業に活用させていただきます！

<主な質問事項>

○人材活用の状況

職場での昇進・昇格等の状況、女性が活躍するために必要なこと

○育児・介護休業制度について

育児・介護休業制度利用経験、利用時に課題と感じたこと 等

○労働環境の状況

年次有給休暇の取得しやすさ、セクシャルハラスメント、メンタルヘルス対策

○仕事と仕事以外の生活のバランスの状況

仕事と仕事以外の生活のバランスが取れているかどうか

この調査の結果は、平成 22 年 3 月ごろ公表する予定です

I あなたの勤務先及びあなた自身についてお伺いします。

問1 あなたの勤務先企業の業種についてあてはまる番号に○をつけてください。

業種	1.建設業	2.製造業	3.電気・ガス・熱供給・水道業
	4.情報通信業	5.運輸業、郵便業	6.卸売業、小売業
	7.金融業、保険業	8.不動産業、物品賃貸業	9.宿泊業、飲食サービス業
	10.その他（具体的に)		

問2 あなたの事業所を含めた企業の従業員規模はどの程度ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 30人未満	2. 30～49人	3. 50～100人	4. 101～200人
5. 201～300人	6. 301～999人	7. 1000人以上	

問3 あなたの性別の番号に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問4 あなたの年齢の番号に○をつけてください。

1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳	4. 50～59歳	5. 60歳以上
-----------	-----------	-----------	-----------	----------

問5 あなたは18歳未満のお子さんをお持ちですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 18歳未満の子どもがいる	2. 18歳以上の子どもがいる	3. 子どもはいない
-----------------	-----------------	------------

問6 あなたの雇用形態の番号に○をつけてください。

1. 正社員	2. パート・アルバイト	3. 派遣社員	4. 契約・嘱託社員	5. その他
--------	--------------	---------	------------	--------

問7 あなたの役職の番号に○をつけてください。

1. 一般社員（職員）	2. 係長相当職	3. 課長相当職	4. 部長相当職以上
-------------	----------	----------	------------

問8 あなたの現在の職場での勤続年数の番号に○をつけてください。

1. 1～5年	2. 6～10年	3. 11～15年	4. 16年以上
---------	----------	-----------	----------

II 職場における人材活用の状況についてお伺いします。

問9 あなたの職場では以下のようなことがありますか。次の項目の中からあてはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

性別により昇進・昇格に差がある	1
性別により教育訓練を受ける機会・内容に差がある	2
女性の勤続年数が短い	3
時間外労働や深夜業に対応できないと昇進・昇格できない	4
女性管理職を嫌がる雰囲気がある	5
その他(具体的にご記入ください) ()	6

問10 女性が職場で活躍するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の項目の中で、最も重要だと思う番号に1つ○をつけてください。

女性の活用に関する担当者・責任者の選任等企業内の体制の整備	1
女性がいないか又は少ない役職・職務への女性の積極的な登用	2
女性がいないか又は少ない役職・職務へ登用するための女性の教育訓練の積極的な実施	3
性別評価によらない人事考課基準の明確化	4
体力面での個人差を補う器具、設備等を設置するなど働きやすい職場環境の整備	5
仕事と家庭の両立のための制度の整備	6
男性社員に対する女性活用の重要性についての啓発	7
その他(具体的にご記入ください) ()	8

III 育児・介護休業制度等についてお伺いします。

この項目でお伺いする育児・介護休業制度とは次のものです。

<育児休業制度とは>

1歳未満の子の育児のために、退職することなく一定期間休業し、職場に復帰することができる制度です。休業中賃金が支払われるかどうかは労使の話し合いにより決まります。雇用保険に加入している場合は、育児休業給付金(最高で休業前の賃金の50%まで)が支給されます。

<介護休業制度とは>

家族の介護のために、退職することなく一定期間休業し、職場に復帰することができる制度です。休業中賃金が支払われるかどうかは労使の話し合いにより決まります。雇用保険に加入している場合は、介護休業給付金(最高で休業前の賃金の40%まで)が支給されます。

問11 あなたは育児・介護休業制度を知っていますか。両方の休業について、以下の項目の中であてはまる番号に1つ○をつけてください。

項目	育児休業	介護休業
制度の名称も内容も知っている	1	1
制度の名称は知っているが、内容は知らない	2	2
制度の名称も内容も知らない	3	3

問 12 あなたは育児休業制度を利用したことがありますか。あてはまる番号に○をつけ、矢印の問へお進みください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 利用したことがある（前職での利用も含む） → 問 13 へ |
| 2. 利用したことがない → 問 15 へ |

問 13 問 12 で「1. 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。育児休業を取得した際、課題と感じたことはどんなことですか。あてはまる番号を2つまで○をつけてください。

職場に迷惑をかけたこと	1
休業中の能力低下	2
復帰後、休業前の職場・職務に戻れなかったこと	3
昇進・昇格への影響	4
休業中の収入の減少	5
休業期間が十分ではなかったこと	6
保育園の入園時期との調整が困難であったこと	7
その他（具体的にご記入ください） 〔 〕	8

問 14 問 12 で「1. 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。育児休業の取得が必要な状況が生じた場合、また利用したいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 利用したいと思います | 2. 利用したいと思わない |
|---------------|---------------|

→ 回答後、問 17 へ

問 15 問 12 で「2. 利用したことがない」と回答した方にお伺いします。あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 利用したいと思います |
| 2. 利用したいと思うが難しい |
| 3. 利用したいと思わない |
| 4. 利用する必要がない（子どもがもう大きくなっている・子どもを持つ予定がない） |
| 5. わからない |

問 16 問 15 で「2. 利用したいと思うが難しい」と回答した方にお伺いします。次の項目の中からその理由として、あてはまる番号を2つまで○をつけてください。

休業を取得できる職場の雰囲気がない	1
休業中の能力低下が心配	2
復帰後、現在の職場・職務に戻れるかどうかわからない	3
昇進・昇格への影響が心配	4
休業中の収入の減少	5
復帰後、仕事と育児の両立が困難	6
休業期間が短い	7
その他（具体的にご記入ください） 〔 〕	8

問 22 問 21 で「2. 利用したいと思うが難しい」と回答した方にお伺いします。その理由として、以下の項目の中であてはまる番号を2つまで○をつけてください。

休業を取得できる職場の雰囲気でない	1
休業中の能力低下が心配	2
復帰後、現在の職場・職務に戻れるかどうかわからない	3
昇進・昇格への影響が心配	4
休業中の収入の減少	5
復帰後も介護が必要	6
休業期間が短い	7
その他（具体的にご記入ください） 〔 〕	8

IV 職場の環境についてお伺いします。

〔ここからすべての方にお伺いします。〕

問 23 年次有給休暇の取得について

あなたの職場の状況は次のうちどれにあてはまりますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 取得しやすい 2. 取得しにくい 3. どちらともいえない

問 24 セクシャル・ハラスメント対策のうち、以下の項目の勤務先での取組状況についてお伺いします。以下のすべての項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

項目	取組は 充分である	取組みが 不足している
就業規則などによるセクシャル・ハラスメント防止の方針の明確化	1	2
相談・苦情等に対処するための受付窓口（担当）の設置	1	2
配置転換などの事後の対策の策定	1	2
セクシャル・ハラスメントに関する研修の実施	1	2
セクシャル・ハラスメント防止のためのマニュアル等の作成	1	2
その他（具体的にご記入ください） 〔 〕	1	2

問 25 メンタルヘルス対策のうち、以下の項目の勤務先での取組状況についてお伺いします。以下のすべての項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

項目	取組は 充分である	取組みが 不足している
労働者への教育研修・情報提供	1	2
配置転換等の人事上の配慮	1	2
所定外労働時間の削減等職場環境の改善	1	2
労働者からの相談対応の体制整備	1	2
その他（具体的にご記入ください） 〔 〕	1	2

V 仕事と家庭・地域・個人の生活の状況についてお伺いします。

問 26 あなたの生活の中での「仕事」と「仕事以外の生活（家庭生活・地域・個人の生活）」のバランス（時間配分）の状況に最も近いものはどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 希望するバランスが取れている |
| 2. 希望するバランスよりも、仕事に係る時間が多くなっている |
| 3. 希望するバランスよりも、家庭生活・地域・個人の生活に係る時間が多くなっている |
| 4. わからない |

問 27 問 26 で「2. 希望するバランスよりも、仕事に係る時間が多くなっている」と回答した方にお伺いします。

① 現在のあなたの仕事の量の状況について、以下の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|--------|-----------|
| 1. 多い | 2. 少ない | 3. ちょうどよい |
|-------|--------|-----------|

② あなたが、仕事と仕事以外の生活（家庭・地域・個人生活）の希望するバランスを取るにあたって、障害となっていることは何ですか。以下の項目の中で影響があると思う番号1つに○をつけてください。

定時退社や休暇が取得しにくい職場の雰囲気	1
収入の減少	2
昇進・昇格への影響	3
特にない	4
その他（具体的にご記入ください） （ ）	5

問 28 すべての方にお伺いします。仕事と仕事以外の生活（家庭・地域・個人生活）の両立を支援する以下の制度を利用したいと思いますか。勤務先の制度の有無に関らず、すべての項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

項目	利用したい	利用したいと思わない	わからない
子の看護休暇	1	2	3
短時間勤務制度	1	2	3
フレックスタイム制	1	2	3
始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	1	2	3
所定外労働の免除	1	2	3
テレワーク※	1	2	3

※テレワークとは、在宅勤務など、ICT（情報通信機器）を活用した時間と場所にとらわれない働き方のことです。

問 29 仕事と仕事以外の生活（家庭・地域・個人生活）とのバランスを取るために有効な取組は何だと思いますか。以下の項目の中で有効だと思う番号を2つまで○をつけてください。

ノー残業デーの導入	1
年次有給休暇の取得促進	2
仕事の進め方の見直し	3
仕事優先の意識の見直し	4
仕事と家庭等を両立するための制度の整備	5
労働時間や場所を選択できる柔軟な働き方の導入	6
その他（具体的にご記入ください） 〔 〕	7

問 30 あなたは「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉を知っていますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

ワーク・ライフ・バランスとは

仕事と生活の調和、即ち、働き方を見直して多様な選択が可能な社会を作り、働く人一人ひとりが意欲を持って働きながら豊かさを実感して暮らせるようになることです。

具体的には、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について自ら希望するバランスで展開できる状態を言います。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は知っているが、内容は知らない
3. 言葉も内容も知らない

〔自由意見欄〕

女性の活用、育児・介護休業制度、働きやすい就業環境の整備に関して、国及び自治体の制度、法律等に対してご意見・ご要望がありましたら自由にご記入ください。

お忙しいところご協力ありがとうございました。

「この印刷物は、環境に配慮した印刷・情報用紙を使用し、作成しています」



神奈川県

商工労働部雇用労政課両立支援班

横浜市中区日本大通1 〒231-8588 電話(045)210-5744(直通)